

# うさぎぐみだより



2025年度 12月号 社会福祉法人 尚徳福社会 保育園川崎ベアーズ

気温がぐっと下がり、秋も終わって冬らしくなってきました。戸外で遊んだり園周辺を散歩したりと身体をたくさん動かして過ごしています。夏以前の春先に園庭に出ていたころとは遊び方や身体の動かし方が大きく変わっていて、そんなところからも子どもたちの成長を感じています。気温が下がるに従って感染症なども多くなりました。子どもたちはもちろんですが保護者の皆様もお身体には気を付けてお過ごしください。

## これ、だれの??

入園、進級してから半年以上が過ぎ、子どもたちの中で「これはこの子のマーク」「この上着は〇〇くんの」と分かるようになってきました。以前は園庭に出る時に帽子を置いておくとか好きなものを持っていっていましたが、今はマークを見て自分のものを探したり、友だちのマークを見てその子に届けてあげたりする姿も見られます。中には先週と違う外用の上着を持ってきた子に「これは〇〇くんの!」と届けてあげる姿もあり、日々子どもたちがさまざまなものを見て記憶したり理解したりしているのを感じます。普段の生活の中でも「先生、なにしているの?」「これはなに?」といった会話が多くなりました。普段の何気ない会話の中にも子どもたちは気づきや学びがあるのだと思います。私たちも子どもたちとのすべての関わりがそうした学びや気づきにつながっているのだと再度認識して関わっていきたいと思います。

## じぶんでみつけたよ

先月幼児クラスがやっていた芋ほり。子どもたちは近くで見学したり一緒に参加させてもらったりしていましたが、よほど楽しかったのか「今日も芋ほりする」と園庭に出るとすぐ畑にスコップを持っていく子や、小さなサツマイモをバケツに集めて大切に持ち歩く子など、それぞれに次の遊びへのステップになっていたように思います。自分で見よう見真似で掘って出てきたサツマイモの根っこや、幼児さんがバケツに集めていたサツマイモに見立てたお気に入りの小石など、対象は様々ですが「自分で見つけたよ!」という気持ちはあの芋ほりで芽生えたようです。お部屋に戻るときも一緒に持って帰りたがり、手放したくない!と主張する事もあります。そんな時は子どもたちが納得する場所に置いてあげて「なくなっていないよ、また今度続きが出来るよ」と、遊びを保証してあげることで気持ちを切り替えていけるように関わっています。

## お知らせ

- ・朝(もしくは前日お迎え時)に着替えのセットを1つ作って頂き、所定の箱の中に入れて下さい。
- ・気温も下がってきましたが、また寒暖差が大きい日も続いています。着替えかごの中身を再度ご確認頂けます様、よろしくお願いいたします。
- ・12月6日には「親子であそぼう会」を予定しています。親子でのふれ合いを楽しめる1日にしたいと思います。ぜひご参加下さい。